

What's Cool

今泉 洋の



What's Cool

LEGOキャラクターで差別化をはかるISP?

Welcome to Legopolis.com

URL <http://www.legopolis.com/>

企業にとってウェブのデザインは会社のイメージを左右する大事な仕事である。下手なグラフィックスは論外だが、一貫性の欠けたデザインも問題だ。

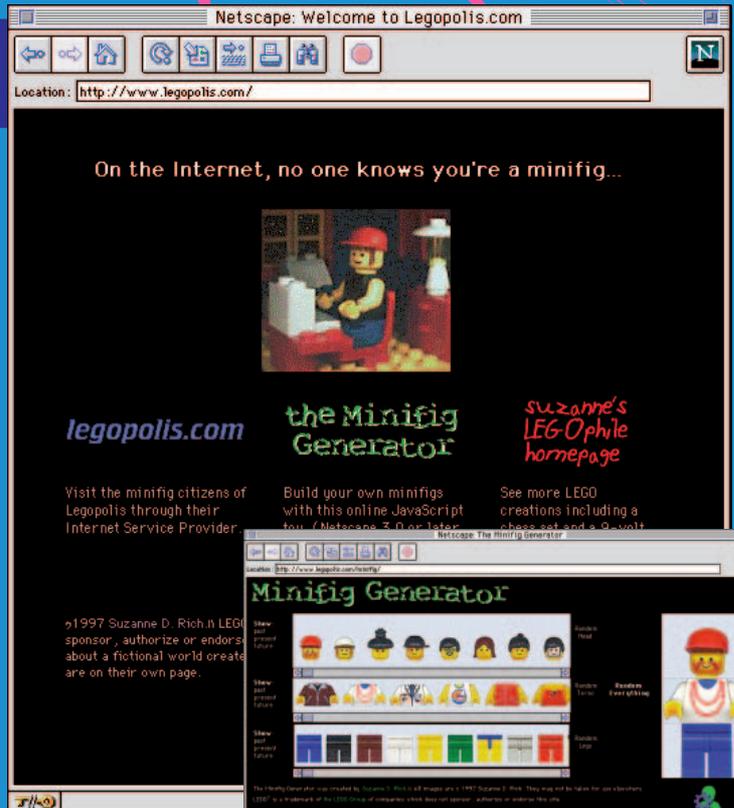
そんな難問を“趣味”で解決してしまったのがこのサイト。登場する全キャラクターやグラフィックスを、コンポ

ネット型おもちゃの古典とも言えるレゴで構成してしまっただのである(とは言ってもレゴ社との関係はない)。

というわけで、出てくる絵はすべてレゴで作られたグラフィックス。さらにレゴをモ

チーフに、ユーザーが好きなキャラクターを作るブログラムやバックグラウンド用のGIFファイルもオマケとして用意されている。

見ているだけでも楽しいが、意外だったのはこの会社がインターネットのサービスプロバイダーだったということ。小さいながらも「インターネットを楽しむ場所」という気持ちが伝わってくるようだ。こういうセンスのページを持つるプロバイダーって、日本にあるんだろうか。



今回紹介したサイトガイドがリアルオーディオで聞ける!
「What's Cool Radio」

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/radio/>

ファッション違反者はWWWで世界中にさらし者?

Fashion Police

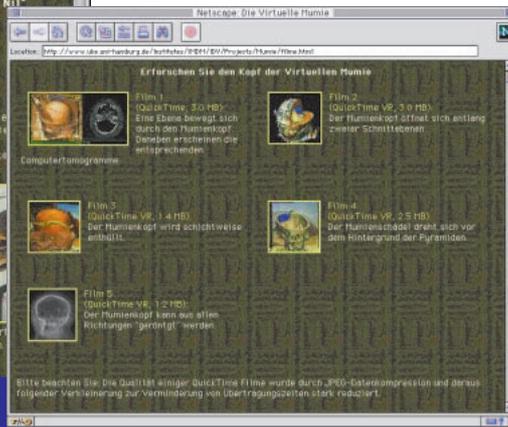
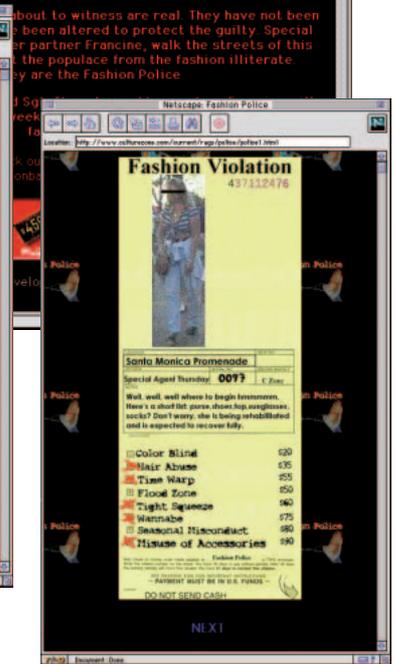
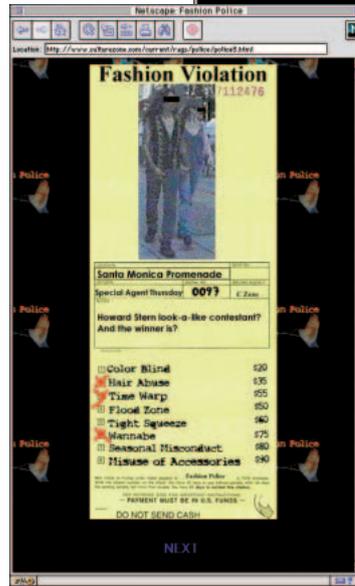
URL <http://www.culturezone.com/current/rags/police/>

ここ東京地方の繁華街では、春ともなるといろんな格好をした人でいっぱいになる。すると、男女年齢を問わず「なんとかしろよ~、そのカッコ」と言いたくなる人たちが当然登場する。こうした傾向は洋の東西を問わないようで、そんな方々に天誅(死語)を下すのがこのファッション・ポリス。

交通違反スタイルの「ファッション違反キップ」には、それぞれの写真とコメント、

罰金金額が表示された「色盲」「ヘアスタイルの乱用」「時代錯誤」などのチェック項目が並び、違反の様子が写とれるという具合。

なお、ファッション・ポリスではよりよいファッション社会(うーん?)をめざしてユーザーからの通報を求めている。「これは!」と思う違反者を見つけたら、デジカメで撮影し、投書してみようだろう。



QTVR版 ミイラの皮むき

Die Virtuelle Mumie

URL <http://www.uke.uni-hamburg.de/Institutes/IMDM/IDV/Projects/Mumie/mumie.html>

残念ながらこのサイト、全編がドイツ語なので詳細は意味不明だが.....と勉強を欄に上げて紹介すれば、どうやらドイツのハンブルク大学が非常に保存状態のよいミイラの断層写真をもとにコンピュータグラフィックスでミイラを合成したものだ。

サイト内にはミイラの構造

を図示した多くの画像やムービーが収録されているが、中でも面白いのはQTVRを利用したミイラ頭部の解剖。

通常のQTVRの使い方だとオブジェクトを回転させるだけだが、この場合、回転に加えて、次第に表面から内部に向かって皮を剥くように、何層にも保護されているミイラの

状態を見ていくことができるようアレンジされている。学術的にも興味深いプレゼンテーションであることは間違いないが、素人にとってはまさにバーチャルリアリティー版「ミイラの皮むき(?)」として楽しめる。



デザインの文化度が知れる 世界のナンバープレート集

License Plates of the World

URL <http://danshiki.oit.gatech.edu/~iadt3mk/index.html>

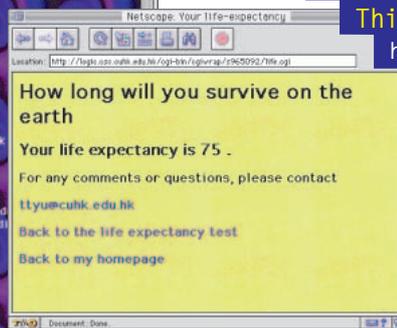
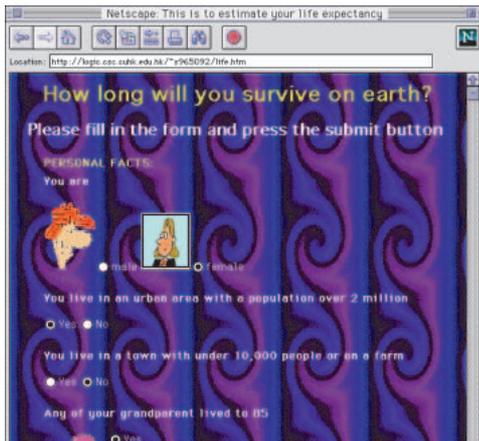
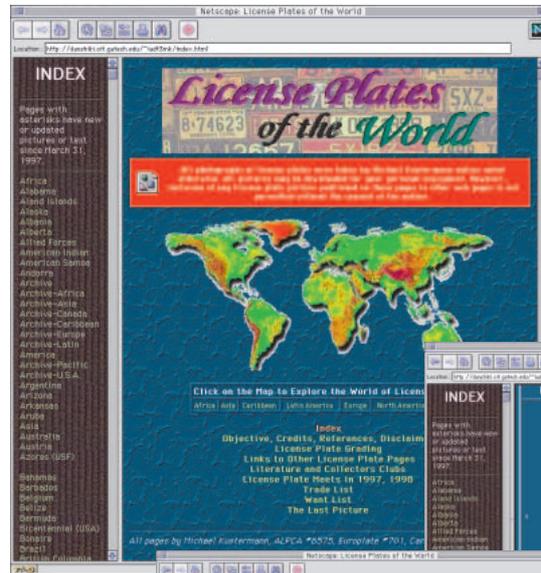
クルマ雑誌のグラビアで美しげに紹介される外車の数々。その背景に写っているのはきまって「ここはどこ？」的な洋館だったりして高い買い物にふさわしい(?)ムードを盛り上げてくれる。だが、よくよく見るとこの手の写真、おまぬけな部分がある。

それはナンバープレート。日本でクルマに乗る以上、どんなに外国風を気どってみても、み～んな「ひらがな」入りのナンバープレートを付けた

きゃ駄目なのである。

それにしても、なんとかならないのか、あのプレートのデザイン。というわけで世界のナンバープレートをながめてみると、いろいろあってなかなか個性的。もちろん日本のナンバープレートもあるが、どこかしょぼく見えてしまうのは筆者だけか？

規制緩和をやるんだったら、ぜひこういう部分でもオシャレーな法改正をお願いしたいものである。



「愛の計算機」に続く「根拠不明」計算サービス第二弾+

This is to estimate your life expectancy

<http://logic.csc.cuhk.edu.hk/~s965092/life.htm>

4月号で紹介したところ、意外にも大好評を得た「愛の計算機」に続いてご紹介するのは、愛があれば死があってもおかしくない、ということ

で「死の計算機」。最初にご紹介するのは男女の別や居住地の人口、家族の健康状態や収入、ライフスタイル、睡眠時間などをボタンで選択していくと、自分が何歳まで生きることができるかをたどりに計算してくれる「your life expectancy」。いちいち質問に答えるのは面倒という怠惰な人(こういう人は長生きする?)のために

は「The Death Clock (<http://www.speedoflight.com/techs/ray/death/>)」がある。

こちらは生年月日と「死の時計」が「悲観的」あるいは「サディスト」のオプションを選択すると、「あと何秒生きることができるか」を表示する時計が出てくる。おまけとして、クリントン大統領夫妻やゲイツ氏ら有名人の残りの生存時間をチェックすることもできる。

しかし、入力してみたら「あなたはすでに死んでるはず」なんて言われたりして？



サーチエンジンからキーワードのランダムサンプリング

Real-Time Magellan Searches

URL <http://voyeur.mckinley.com/voyeur.cgi>

検索サービスに入力されるキーワードをまとめてみると、ユーザーの情報に対するニーズが見えてくるはず……というわけで、キーワードに注目する人も多い(本誌4月号「Yahoo! Top 200 Search Words < <http://eyescream.com/yahootop200.html> >」)

しかし、別の形でこれを使ってみると面白いし、集客に役立つかもしれない、と考え

たのがマジェランの「Search Voyeur」というサービス。20秒に一度の間隔で、マジェランの全利用者が入力しているキーワードの中からランダムに20種類を表示してくれる。

もちろん、表示されたキーワードをクリックすれば、マジェランの検索結果を別のウインドウに表示してくれるから、他人のキーワードで楽にネットサーフィンができるとい

うわけ。

自分のサイトを紹介したいからか、これを逆用して同じキーワードをどんどん打ち込んで画面を占領してしまうヤカラに出くわしたり、見慣れないキーワードばかりが出てきて、読むのが忙しくて困ったりするときもあるが、アイデアに煮詰まったウェブ評論家にはお勧めである(って私のことか?)

予定外の情報露出? ドメイン名の検索サービス

[checkdomain.com](http://www.checkdomain.com)

URL <http://www.checkdomain.com/>

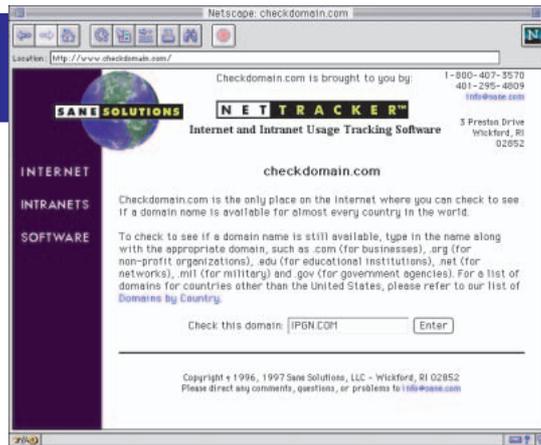
WWW がポピュラーになるに連れて、ドメイン名をめぐるビジネスが活発化してきたのはご存じのとおり。個人名のドメイン取得を斡旋するサービスが登場したり、有名な会社のドメインネームが権利ビジネスの対象となったりと、一部では大きな問題になっている。

すでにウェブが稼働してい

れば、URLを入力してみて確認することはできるが、実際には動いていない場合もあつたり、誰が権利を持っているのか分からなかったりすることも多い。

そんなとき役に立つのがこのページ。ドメイン名を入力すると、たどところにドメインのオーナー名や住所、更新日時などを表示してくれる。

これは便利! ではあるが、ちょっと問題だと思われるのが、「.com」ドメインを日本人風個人名で検索すると、オーナーの住所や電話番号までも表示されてしまうこと。ま、本来はコーマーシャルサイトのはずで、会社の住所や電話番号が表示されることになっているんだから、仕方ないかもしれないが……。



情報検索の新しいアプローチ 「サーチ」ならぬ「ランク」エンジンとは?

RankLink Internet Rank Engine

URL <http://www.ranklink.com/rank/>

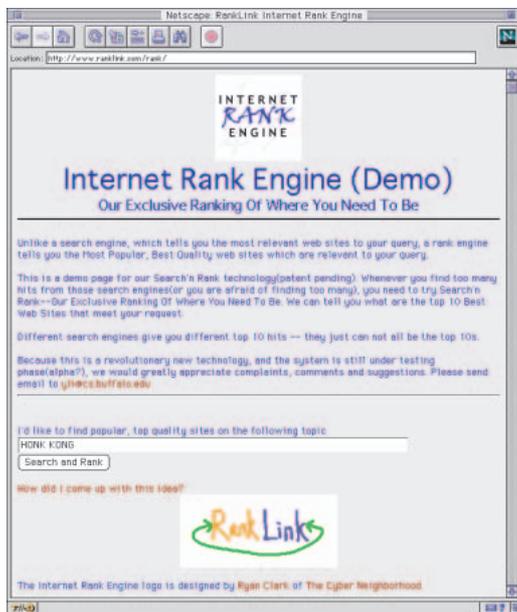
ふつうのサーチエンジンがキーワードをベースに最も適切なページを出力するのに対して、このランクエンジンは、入力されたキーワードで検索できるホームページのうち、ポピュラーなもの、すぐれたもの10か所を表示してくれるという。

このエンジンの基本部分で

ある「ランク技術」を生み出したのは元北京大学の情報科学系の学生で米国に移住した Yan Hong Li 氏。「リスト作成までに数分かかりますので、その間、別のウインドウを開いてほかの検索サービスでものぞいてください」というコメントが出てくるが、それはこのエンジンの載ってい

るマシンが40数人でシェアしているPCだからだそうで、なんだかいかにもベンチャーっぽい話である。

まだデモンなので、ユーザーからの苦情やコメントなどを求めている。実際に本格的なサービスとして稼働するかどうかは不明だが、今後の展開が楽しみな新サービスモデルだ。



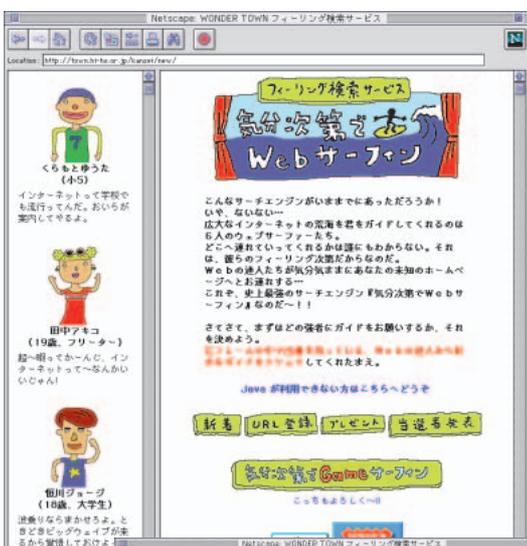
最近、筆者の周りで話題集中なのがこのウェブである。検索エンジンで知られるInkTomi社とNTT、そしてNTTアドという強力な組み合わせで設立されたという話題性もさることながら、カバーするウェブページが350万以上というケタはずれの大きさ。しかし、検索方法は極めてシンプルで使いやすい(といっても、オプションで人名や語順の保持、日付やデータタイプの指定なども可能)。まさに、日本最大、最強の検索能力間違いなしと評価が高いのもうなずける。

ここまで大きくなると、従来の検索エンジンでは見逃していたウェブの奥深くまでロボットの調査が進み、いままでは大した数の結果が出てこなかったキーワードでも、思いがけないページが見られる可能性があるわけだ。個人のホームページも増えてきたし、日本語のウェブ検索が面白くなりそう(けど、ちょっと怖い)。



日本語ドメイン最強の検索サービス登場?
goo
 URL <http://www.goo.ne.jp/>

感情マップを持ったキャラクターがウェブガイド
WonderTown フィーリング検索サービス
 URL <http://town.hi-ho.or.jp/kansei/>



小学校5年生の「くらもとゆうた」がやってくれるというのはほかにありがただが、このウェブのユニークなところはそれぞれのキャラクターが二軸平面で示される感情マップを複数面持っており、マップの座標をクリックすることでそのフィーリングに合わせたウェブをリストアップしてくれるところ。

たとえば「くらもとゆうた」ガイドの某チャートの場合、「つかえるぜ〜」「かたあ〜やわらかあ〜」といった座標平面が作る100の値のそれぞれで微妙に違うウェブをリストアップしてくれる。値を1つ変えると、どこが変化するかを見つけるのも面白い。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp